

9月からのスタートをスムーズに

夏休みもあと10日ほどとなりました。おかげさまで大きな事故やけが等の連絡もなく、子供たちは元気にすごしていることと思います。しかし、子供たちにとっては楽しい夏休みですが、親にとっては宿題を見たり、毎食の準備をしたりとやる事は確実に増え、大変な思いをされているかもしれません。大人は夏休み明けにほっとする9月ですが、子供たちはどうでしょうか。子供たちはマイペースで過ごせていた休みから、一気に集団生活が始まり、学校が大好きな子でも強いストレスを感じるのが夏休み明けの特徴でもあります。特に9月からは4月と違いすぐに通常授業になりますし、学校行事が多く、学習内容も複雑になり早いスピードで進みます。夏休みが楽しかった分疲れが出ることもあるかもしれません。



そこで、9月からのスタートをスムーズに切るために、残りの10日あまりで**生活のリズムを整える**（特に、起床時間と朝食をとる）、**1日に1度は屋外で体を動かす**（暑さに少し慣れておく）をお願いします。心も体も元気で、9月からの学校生活が始められるよう、ご協力をお願いいたします。

夏休みの先生は…

「長い夏休みがあって先生はいいですね」と言われますが、休みになるのは子供たちだけで、先生たちはいつも通りに学校に来て仕事をしています。9月からの授業や行事の準備、終わっていない事務処理を終わらせたり、普段はできない研修会へ参加したりすることなどです。（その1部を紹介します。）

先生たちにとって夏休みは、いろいろな意味で充電の期間になります。パワーアップして子供たちを迎える準備をしています。

東茨城郡の研究発表大会で、道徳の授業の実践について発表しました。



大洗一中の先生達と、小中学校で連携した教育の推進について話し合いました。



うみまちコミュニティスクール研修会で、地域の方と人権について考えました。



消防署の方を講師として、全職員で救命処置やAEDの使い方を研修しました。

